

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2016年
2月23日(火)
第139号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「保育を楽しむための連続講座第5回」 ～かかわりあって育つ子どもたち～



2月7日(日)ラパスホールにて「保育を楽しむための連続講座第5回」が、埼玉からの5人も含め60人の参加で開催されました。

今回は京都華頂大学の西川由紀子先生を講師に迎え、「かかわりあって育つ子どもたち」をテーマに講義をしていただきました。

まず始めに、発達のとらえ方について“子どもと子どもを比較するのではなく、その子にとっての今できること、その子がこれからできるようになっていくことは何かを把握するために発達の学習を”というお話がありました。子どもの発達の状態を知ることとは、他者と比べることではなく、その子の現在・過去・未来の道りを見ていくことに意味があるそうです。だからこそ、発達の順序を知って保育することが大切になってくるというお話がありました。

それから、乳児期後半～6歳にかけての子どもの発達について、西川先生が保育の現場で出会った子

どもの姿をまじえながらお話してくださいました。その姿を見つめる先生のあたたかいまなざしが、お話していただく中からも感じられました。

“自分が大好き”と思えたときに、人は“友だちが大好き”と思うことができる。子どもはゼロ歳から、友だちとかかわりあって育っている。そのためには、大人(保育者同士、保育者と保護者など)もかかわりあって、連携しあって、見守り、子どもが安心していけるようにすることが大切であるとお話いただきました。

その後、少人数に分かれてグループ交流を行ない、意見交換をしました。

今年度の連続講座は今回の第5回目が最後の講座でした。皆様、お忙しい中ご参加くださり、ありがとうございました。

[アンケートに書いていただいた感想をいくつか紹介します。]

女性：20代保育士2年目 講義は各年齢の発達のポイント、その時の対応で気をつけたいことを分かりやすく解説していただき、勉強になりました。普段の保育で悩むところもあり、いいヒントをたくさんいただきました。



女性：20代保育士6年目 今日の講義をきいて涙がうかぶほど胸に響きました。もっと早くこのような考えを持つ人に出会いたかった。けれど今日、西川先生に抱きとめてもらえたように思います。

女性：50代保育士40年目 自分の保育の振り返りにもなりました。若い人たちが自分の思いを言える、考えていく、大事ですね。

女性：40代保育士21年目 「はやく子どもたちに会いたいな〜。」そんな気持ちが自然に湧きあがりました。ありがとうございました。グループ交流ではたくさんディスカッションすることができ、様々な意見が出てとても有意義でした。明日に生かせるアイデアがたくさん飛び出しましたよ！

男性：20代保育士7年目 なぜ発達を学ぶのか？という話をしていただき、子どもの遅れを平均的な成長するためのものではないということが改めて思った。1年間連続講座に参加させていただき、大切なことは安心感（安楽）の下でのワクワクドキドキする楽しい生活ということがどの先生からも聞くことができた。

女性：20代保育士1年目 今回の講義に参加をして、子どもとのかかわり方、発達過程を改めて見直していこうと思いました。自分自身の保育を振り返り、子どもとどのように向き合っていくのか考えて、保育士自身がわくわくできる楽しい保育を展開していこうと思いました。

女性：50代保育士34年目 （グループ交流）少人数で話しやすかったです。グループのみなさんも率直に話されていて楽しく交流することができました。保育をしていて「大切にしたいこと」はみな変わらずで良かったです。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】